



# 地区懇談会

「公共施設の適正配置と平成30年度主要事業について」をテーマに市内13地域で5・6月に開催した地区懇談会の主な内容を紹介します。

※各地域で開催した地区懇談会の主な内容は、ホームページで確認できます



☎ 秘書広報課 勝見、小久保、虎山 TEL 22-1372

## 公共施設

公共施設の適正配置計画は、どの施設を想定していますか。

**回答** 例えば、精華公民館と本土児童館の複合化を想定しています。小・中学校の統合は生命線であると考えられるため、今のところ予定はありません。

市の公共施設の延床面積は類似都市と比較して多いとの説明でしたが、学校や市営住宅の数も多いですか。

**回答** 多治見市は、経済成長と人口増加に合わせて公共施設を建設してきました。現在は人口一人当たりの延床面積が類似都市と比べ多く、学校や市営住宅の数についても多い状況です。多治見市は学校を人財育成の場と捉え、学校の統廃合は最後に取り組みものと考えています。また、市営住宅については、集約化促進住宅の建設などの対策を進めています。

公共施設の整備だけでなく、維持管理もしっかりと進めてください。

**回答** 老朽化した施設への対応として優先的に複合化・集約化を進めるとともに、施設については長寿命化の取り組みを行っています。今後、施設整備だけに重点を置くのではなく、維持管理も適切に行っていきます。

## 教育

学校にエアコンを早急に設置してほしいです。

**回答** 平成30年度に設置の優先順位を決め、小・中学校、幼稚園、保育園への設置を進めます。エアコンを設置するためには多額の費用が掛かります。市民の皆さまには代わりに何かを我慢していただく必要が出てきますのでご理解ください。

学校の統廃合は最後に取り組むとのことですが、給食調理場は現在の2センター(大畑、共栄)で対応していくのですか。

**回答** 現在の2センターは老朽化が著しいこともあり、2つのセンターを集約化した「食育センター」の建設を計画しています。この施設は大規模調理場としての機能だけでなく、児童・生徒や保護者の皆さんに給食調理の様子を見学いただくなど、食育の拠点となるよう計画しています。

## 環境

リニア中央新幹線の残土を受け入れる理由を教えてください。

**回答** 積極的に受け入れていくわけではありません。また、受け入れる際には騒音や渋滞を認めず、危険なものがあればすぐに中止します。

## 行政

東京などと比べて、多治見市の水道料金は高いです。安くありませんか。

**回答** 県から水道水を購入しているため、その分水道料金が高くなっています。今までも、これ以上水道料金が高くならないように努めてきました。少しでも安くならないかについても検討します。

## 防災

東海地震への対策を教えてください。

**回答** これまでに、優先順位の高い小・中学校、消防署、市庁舎について耐震補強を行いました。1年に1度土岐川の河原で水防訓練も行っています。今後は、災害時の拠点施設として感謝と挑戦のTYK体育館の整備に取り組みます。

感謝と挑戦のTYK体育館の改修について、災害時に停電する場合も考慮して改修計画を進めていますか。

**回答** 停電時のリスク回避のため、改修後はエアコンや炊き出しセンターの熱源にはプロパンガスを利用します。



## 交通

虎渓山付近に信号機の新設が予定されており渋滞がひどくなる心配ですが、解決策はありますか。

**回答** 虎渓山5丁目永保寺入口付近の信号機新設においては、渋滞しないよう右折車線を拡幅し、車両の待ち時間が短くなるよう警察と調整します。

JR多治見駅を挟んで南側から北側へ車で移動するのが不便です。道路整備をお願いします。

**回答** 踏切を通らず移動するには、橋を架けるか地下道を作るしかありません。現在、太平町から土岐川の南側へ架ける(仮称)平和太平線の建設を県に要望しているところです。また併せて、市の事業として(仮称)白山豊岡線の整備についても検討していきます。

40区では、7月1日からあいのりタクシーの運用を開始します。制度を運用していくうえで、既に町内からさまざまなご意見をいただいているため、市に相談しながら進めていきたいと思えます。

**回答** あいのりタクシーは、地域ごとの状況に応じて制度の詳細を決めていきます。例えば、市役所の補助金額上限20万円では地域内ではなかなか話が進まない場合などは、上限額を多少緩和して制度の利便性を確保するなど対応を検討します。

## 産業観光

市街化区域の活性化施策について、JR多治見駅周辺ばかりで商店街の活性化についてはあまり進んでないと感じます。何か具体的な計画はありますか。

**回答** 例えば、ながせ商店街では旧ワタナベ時計店の店舗を中心として、店舗のリニューアルを行い、カフェなどを整備していく検討も進んでいます。今後も、市の職員が商店街に出向いてご意見を聞き、方向性を検討します。

笠原町のモザイクタイルの街並みが素晴らしいと感じます。多治見市内全域においてもモザイクタイルを使用してください。例えば、駅南再開発においてマンションの壁面に使用するなど、世界へ発信するような芸術的な施策をお願いします。

**回答** JR多治見駅や屋ヶ台保育園、市民病院、税務署、今度新しく造る県病院など、さまざまな建造物に多く使用しています。岐阜県庁にもタイルの使用をお願いしています。また、4月からは市内の住宅や店舗に美濃焼タイルを施工する際の補助制度が新しく始まっています。



モザイクタイルミュージアムの年間入館者数が当初の予定よりも大幅に多く、現在の累計数が約32万人だと聞きました。しかし、周辺地域の食事も観光の案内がないという話も聞いています。市で観光客向けの案内看板やマップなどを整備してもらえないでしょうか。

**回答** 笠原町商工会を中心にして地域の食べる場所、見るところなどをまとめて原稿を作っていただければ、市で案内マップを作成します。

